

# プレス自由

第3号  
2017.1

LIBERAL PARTY



発行:自由党 ■平成29年(2017年)1月10日発行 ■〒102-0083 東京都千代田区麹町四丁目5番6号 麹町森永ビル4F  
■Tel.03-3234-3330 ■Fax.03-3234-3332 ■ホームページ/http://www.liberalparty.jp ■E-mail:info@liberalparty.jp

HEADLINES ①小沢一郎代表 巻頭提言/山本太郎代表 メッセージ/次期衆議院議員選挙第1次公認候補予定者  
②議員活動報告 玉城 デニー幹事長 青木 愛副代表 森 ゆうこ参議院議員 木戸口 英司参議院議員/第192回国会 自由党が取り組んだ議員立法/地域の活動・豊田 潤多郎



## 次期衆議院議員選挙 第1次公認候補予定者

- 岩手県第4区  
小沢 一郎 (おざわ いちろう) 74歳 現16
- 千葉県第3区  
岡島 一正 (おかじま かずまさ) 59歳 元2
- 神奈川県18区  
ひだか 剛 (ひだか たけし) 51歳 元3
- 富山県第1区  
広野 ただし (ひろの たし) 73歳 元1(参2)
- 京都府第5区  
河上 満栄 (かわかみ みつえ) 45歳 元1
- 大阪府第6区  
村上 史好 (むらかみ ふみよし) 64歳 前2
- 大阪府第12区  
真白 リョウ (ましろ りょう) 40歳 新
- 広島県第6区  
佐藤 公治 (さとう こうじ) 57歳 元2(参1)
- 長崎県第4区  
末次 精一 (すえつぐ せいいち) 54歳 新
- 沖縄県第3区  
玉城 デニー (たまき でにー) 57歳 現3

## 小沢一郎代表 巻頭提言



## 今年こそ、国民の手で「権力の再配分」を!

アメリカのトランプ現象に代表されるように、昨年は世界が大きく動いた1年でした。ヨーロッパに目を向けても、英国のブレグジットをはじめ、フランスのルペン氏率いる国民戦線やドイツのAfD(ドイツのための選択)の台頭、さらにイタリアの国民投票に伴う首相の引責辞任やオーストリアの大統領選の結果など、世界の右傾化が指摘されています。しかし私は、これは単純な右傾化ではなく、この背景には行きすぎたグローバル化と新自由主義の進展による格差拡大があると思います。

こうしたなか、世界各国の国民が自らの意思を示し既存の権力に「NO」を突きつけたのが、昨年の世界的な動きだったのではないのでしょうか。言葉を変えれば、各国で民主主義が正しく機能したのです。ところが、先進国の中でもトップレベルの格差社会の日本だけは、大きな動きがありませんでした。

これは日本人が我慢に我慢を重ね、もう限界という時になるまで不満を行動に表さないからです。そして、極限に来ると、ヒステリーを爆発させてしまうのです。これでは良い結果を生むことはできません。

今年こそ、日本も、今日の世界的な潮流に倣って、民主主義の力を発揮し、自分たちの暮らしに目を向ける政権に自分たちの手で変えていくべきです。そうでないと、世界の激しい動きから日本だけが取り残され、波の間に漂うエンジンのない船のように、いつ難破するかわからないような事態になってしまうと私は危惧しています。

よく富の再配分で公平な社会をつくると言いますが、それは政治の根源的な役割です。しかし、その役割を担う政治権力は、国民が選挙のたびに自らの手で再配分することができず、それが民主主義です。富の格差、権力の格差は、人間の普遍的な価値である「自由」を奪うものです。一方で自由というものは、経済的にも政治的にも、みんながある程度同じ力を持った社会で初めて共有できる価値です。だからこそ、私たち自由党は、自由で公正な開かれた社会の実現に向け、今年も真摯に活動していきたいと思っています。

## 山本太郎代表 メッセージ



今年最初の機関紙。何について書くのか、と悩む事はありません。問題だらけですから。書くネタにも困るくらい世の中を作りたいたいと思う一方で、昨年12月に起こった多くの事件を思い返すと、その中でもこの国の姿をわかり易く表したものがありません。

オスプレイ「不時着」問題。言葉の言い換えで問題の矮小化をはかるのは、この国の政治における伝統とも言えるかも知れません。墜落「不時着」学生サライ金「奨学金不況」アベノミクス

一言で、それが何であるかをわからせない。非常に巧みなやり方。けれども、事故現場の写真や、数々の経済的指数、人々の生活での肌感覚などで、政治に興味がなくとも、政府は信用できない、何かおかしい、という思いが大きくなっていると良いのですが。

さて、墜落後検証も究明も完全に終わらないまま、オスプレイ飛行訓練再開。県民感情を爆発させる為に、ワザとやっているのでしょうか。米軍は「俺がホスダ」と身体でわからせる気なのでしょか。海外でも米軍基地を受け入れる国は存在しますが、ここまでのやりたい放題を許す国はあるのでしょうか?

同盟関係を続けていくならば、米軍にわかつて戴かなければならない事があります。「親しき中にも礼儀あり」。しかし、これをわかつて戴く為に対等な関係である事を担保しなければなりません。今の政治では、「植民地にご慈悲を」でもハードルが高いかな? あまりに悲しい事です。これは同盟関係ではなく主人と奴隷の関係。この責任は日本側にあると考えます。主権者を守る態度をハッキリと示さない事が、数々の問題を生まれる原因ではないでしょうか。悔しいです。だから変えたいです。当たり前の事を言い合える関係を諸外国と結び、そんな政治に今年近づけられる様、力を合わせていきたいと思います。



# 議員活動報告

今年の抱負



玉城 デニー 幹事長

## 新たなる目標を掲げて

21世紀の世界情勢は国家間の紛争や非道なテロ、残虐な事件など人命の尊重という人類普遍の願いから遠くかけ離れた状況が続いています。日本においても、地震災害からの復旧復興へ懸命な努力が続く中、他方では人命や人の尊厳を軽視するかの非情極まりない事件が多発しています。

国際社会の動きを俯瞰的にとらえ、我が国と国際社会の将来を担う子ども達や若い世代に、希望あふれる未来を描いていくための責任を強く認識し、方向性を示すための方針や行動などを具体的に提起していかねばなりません。結集する全国の仲間の皆様とともに「自立と共生」の政策を実現するべく、新たなる目標を高く掲げ勇往邁進してまいります。



青木 愛 副代表

## 国民生活に目を向けた政治を実現

現在、6人に1人の子どもが貧困状態にあります。昨年12月4日、この問題に取り組んでいる「あすのば」の全国集会に出席し、実効性の高い給付型奨学金制度の創設、医療費の軽減や子ども手当の充実等、貧困対策に取り組むことを約束しました。また、8日には歯科技工問題を考える懇談会で挨拶、16日には北東アジア経済協力フォーラム「中国の一带一路構想と日中経済協力」で日中友好の重要性について話しました。国会では消費者特別委員会で、消費者に代わって金銭被害の回復を求めて裁判を行う特定適格消費者団体への支援充実を求めて質疑しました。消費者の泣き寝入りを防止します。

2017年を迎え、お一人お一人の意見に耳を傾け、国民の暮らしに焦点を当てた政治に取り組みます。



木戸口 英司 参議院議員

## 野党と市民の共闘で政権交代！

昨年の臨時国会。確かに衆参ともに野党の議席は3分の1以下の少数である一方、TPP、年金カット、カジノと反対や慎重にという国民の声は決して少数でない案件が強行採決という議会制民主主義は瀕死の状態です。

TPP、南スーダン、辺野古、原発、対ロシア、アベノミクス。情勢が大きく変わっても、国民・県民の反対が強くても、失敗が明らかになっても決めた通りに進んでいく政治にリーダーシップはありません。むしろ官僚的すぎる。失敗を認めない、正せない政治が国を誤らせることは歴史が示すとおりです。我々野党が問われています。争点を明らかにし、民意を動かし、多数を形成していく。野党と市民との共闘で解散に追い込み、政権交代。2017年、新しい政治のスタートの年といたしましょう。



森 ゆうこ 参議院議員

## もう一度政権交代を実現する時が来た

昨年は皆様の力強いご支援で3年ぶりに国政に復帰することができました。また、年末の新潟県糸魚川市大規模火災の発生に際し、心温まるご支援を頂きました。改めて深く感謝申し上げます。政治の使命は国民の生活を守ることであることを胸に刻んで活動してまいります。

今、同じ志を抱く人々が再び小沢一郎代表の元に「結集」し、自由党が野党共闘の要となることに大きな期待が寄せられています。1%の権力者や富裕層ではなく、99%の普通の人々を幸せにすることを政策の柱にしてオール野党と市民が力を合わせ、もう一度政権交代を実現する時が迫っています。皆様、ともに頑張りましょう。

### 第192回国会(2016年9月26日~12月17日) 自由党が取り組んだ議員立法

	法案名	提出会派	結果
衆議院	1 労働基準法の一部を改正する法律案(長時間労働規制法案)	自由、民進、共産、社民	審議中
	2 第一線救急救命処置体制の整備に関する法律案(自衛隊員救急救命法案)	自由、民進	審議中
	3 公職選挙法及び地方自治法の一部を改正する法律案	自由、民進、社民	審議中
参議院	1 民間あっせん機関による養子縁組のあっせんに係る児童の保護等に関する法律案	希望の会、自民、民進、公明、維新、無ク	成立
	2 児童の通学安全の確保に関する施策の推進に関する法律案	希望の会、民進、無ク	審議未了

\*希望の会は、参議院における自由党と社民党の統一会派名です。



### 地域の活動

京都府第4区総支部長  
豊田 潤多郎(元衆議院議員)



## 名刺5万枚を配布

平成28年の参院選に向けて、27年春からポスター貼りにも力を注いで来ましたが、現在衆院選に向けて引き続き頑張っているところです。さらに、党名変更を機に、小沢代表と総支部長の顔写真入りの名刺を5万枚作成し、11月初旬から軒一軒ご挨拶に伺いお配りいたしました。約1ヵ月半かかりましたが、12月中頃に配布を完了したところです。地道な活動ですが、必ずや良い結果に繋がるものと確信しています。現在、さらに5万枚の追い刷りを行っており、年明けにかけて合計10万枚の配布を目指しています。骨の折れる活動ですが、引き続き頑張っておりますので、皆様のご理解とご支援を心からお願い申し上げます。